

受賞おめでとうございます
新井宿自治会連合会 感謝状贈呈


〈退任会長〉 石川 義雄	(敬称略)	
〈退任副会長〉 久保 喬		
〈永年在職者〉 平林 恵久子	吉田 和生	平林 圭子
鈴木 尚子	稲田 祐命	沼田 哲雄
岩井 勝子	橋爪 一太	森脇 秀夫
長谷川 朋子	渡辺 千壽子	中山 豊子
松木 由紀子	吉澤 はつ	星 貞三

ピッカピカ観音堂

新井宿六丁目町会

池上通りから観音通り商店街をまっすぐ入って行くと、五叉路の三角地の場所に観音様があります。その中の一つ、小さな稚児地蔵尊のお堂が、新井宿六丁目町会会長の手によってピッカピカの銅板のお堂になりました。病院通いの人や自転車通学の若者など、祈る気持ちはまちまちでも、手を合わせる後姿に気持ちが和らぎます。

町の子供達を守る小さなお地蔵様を観音会の皆さんがお掃除し、お花を飾ります。何時もきれいな癒しの場所です。(場所は2・3面の地図の㊸)




お掃除大作戦2017

山王三・四丁目自治会

5月20日(土)、初夏を感じさせる日差しの中、70名近い方々が山王公園に集合しお掃除大作戦が決行されました。三丁目の方は四丁目、四丁目の方は三丁目を担当し、日頃と異なる風景を楽しみながら汗をかきました。山王は比較的ゴミの不法投棄が少ないエリアですが、それでもタバコの吸殻、空き缶、ペットボトルが目につきました。

山王公園に再集合した後、希望者にアサガオの種が配布されました。アサガオは「18色の緑づくり事業」の一つとして、新井宿特別出張所管内を今夏も彩ってくれることでしょう。



編集後記

前号につづき、大田区制70周年記念の紙上写真展その2「教育・文化・風物」をテーマに昔の新井宿の写真を2、3面に掲載しました。

特に教育面で欠かせない大森第三中学校を一面で取り上げました。卒業生の方は三中の懐かしい写真を見て、その当時を思い出されているのではないのでしょうか？

3月に新井宿特別出張所で開催された紙上写真展の元となった「新井宿 昔と今の写真展」は大変好評を得ました。又、10月に開催する予定です。ご期待下さい。

平成28年度で、副編集委員長の齋藤蓉子さんが退任されました。12年の長きにわたり、ご尽力頂き有難うございました。

新任の方は中央一丁目町会 形見俊郎さん 関口直人さん、新井宿六丁目町会 雫本まり子さん、3名の方です。どうぞよろしくお願致します。


(加藤編集委員)

俳句の歴史や基礎・具体的な事柄から学ぶ、楽しい句会
 山王三丁目町会

江戸時代、俳句は、町人の嗜みとして、広く句会が行われ、日本の大切な文化として発展しました。昭和のころには、地域の皆さんで句会が開かれるようになり、その時代を知っている方が数多くいらっしゃいます。この伝統を地域の文化として復活させたいと考えて、昨年より準備を重ね、俳人協会会員の山根繁義さんを講師に迎え、ついに5月より月1回の「山王三丁目町会句会」を始めました。興味はあるが機会がなかった方々に好評です。

羽ばたいて 風の息よむ 葉立鳥
 笑み つくり 梅雨の 晴れ間の 水鏡
 伽羅 踏は 近くて 遠い 母の 味

久美子 由紀子 雅子



ドンキの5階に認可保育園開設!

MEGA ドン・キホーテ大森山王店の5階に6月1日、認可保育園「はぐはぐドンキ adventure 保育園」(運営事業者 / プリメックスキッズ株式会社) が開設しました。

この保育園は、運営事業者とドン・キホーテグループが協力し、待機児童の解消と地域の活性化のため、地域・保育園・店舗が交流する様々な取り組みを行い、地域が一体となった子育て環境の創造に努めていくことを目指しています。

一般社団法人日本善行会の「春季・特別善行 国際貢献表彰」を、「山王三・四丁目自治会 国際交流部と仲間たち」が受賞しました。

上記グループは長年にわたり、留学中の学生に対して和食料理を囲んで勉強会を行っており、また、大型台風で甚大な被害を受けたフィリピンの福祉施設に衣料や缶詰、寄付などを送る、などの活動を行っています。

今秋開催「第3回新井宿地区写真展」。「テーマ自由」と「昔の新井宿」の写真を近日募集予定。乞うご期待!

発行 地域力推進新井宿地区委員会
 編集 「わがまち新井宿」編集委員会

中央四丁目町会	編集委員長	若生 一 順
山王三丁目自治会	副編集委員長	荒木 秀 樹
山王三丁目町会	副編集委員長	吉川 信 一
山王三・四丁目自治会	編集委員	三沢 清太郎
中央一丁目町会	編集委員	形見 俊郎
中央一丁目町会	編集委員	関口 直人
新井宿五丁目町会	編集委員	加藤 弘子
新井宿六丁目町会	編集委員	雫本 まり子
新井宿六丁目町会	編集委員	松原 美枝子
新井宿七丁目町会	編集委員	落合 松枝

.....共同編集.....

監修 新井宿自治会連合会
 事務局 大田区新井宿特別出張所
 大田区中央1-21-6 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

わがまち Araijuku
新井宿



「くねくねの木」
 入四小5年
 鳴海 颯流さんの作品 (切り絵)

大森第三中学校開校70周年おめでとうございます
 ~校長先生からのメッセージと昔と今の写真~

平成29年5月3日、大森第三中学校は開校70周年を迎えました。これを記念して、校長先生からメッセージをいただき、同時に昔と今の写真も掲載いたしました。(敬称略)

地域とともにある学校づくり
 大森第三中学校長 笛木 啓介

教育基本法には「学校・家庭・地域住民等の相互の連携協力に関する規定」が盛り込まれており、これを根拠に「地域に開かれた信頼される学校づくり」、「地域全体で学校を支援する体制の構築」といった観点から、多くの地域で学校と地域との様々な連携活動が推進されています。我が三中のある新井宿特別出張所管内でも、ガーデンパーティーをはじめとして農業体験学習、地区スポーツの集い、三中生が地域の方々と熱い意見を交わす地区集会等々、多くの催しや行事が企画運営されています。その中で、三中の子どもたちは、社会体験活動を通じた生きた学習に取り組ませていただいています。本当に多くの地域の方々に支えられている実感があり、感謝の気持ちでいっぱいです。

学校と地域との連携をこの様に捉えると、子どもの育ちのためだけの取り組みと思われがちですが、実はそれだけではないのです。学校と地域が連携することによって得られる成果は、大人たちの学びの拠点を創造し地域の絆を強め、さらには地域づくりの担い手を育てていくことにもつながっていくのです。

今年で創立70周年を迎える大森第三中学校は、今後も「チーム新井宿」の一員として、地域とともにある学校づくりに邁進していきます。

写真提供: 大森第三中学校 新井宿特別出張所 (三中の場所は2・3面の地図の㊸)



昭和30年の四期増築と体育館完成当時の航空写真。この時、全校生徒数は約1500名。プールが完成したのは、昭和32年夏。写真左上の森には、佐伯栄養専門学校があり、周りの様子が現在と随分と違っているのが分かる。



日本初のクラスター校舎が完成した昭和37年には、全校生徒数2,400人、学年16クラスのマンモス校として話題となった。



平成28年6月の「学校防災訓練」の様子。バケツリレーを教えるも、コツがつかめず、バケツを持ったまま目的地まで走ってしまう生徒もいたが、みんな防災のために一生懸命。

写真で見る

昔の新井宿

紙上写真展 その2

新井宿の「教育・文化・風物」

今回は、大田区制70周年記念紙上写真展その2として「教育・文化・風物」をテーマに掲載しました。



8 龍子記念館(昭和38年)
この年、川端龍子の文化勲章受章と喜寿とを記念して開館され、平成3年に大田区立龍子記念館となった。



9 爆撃を受けた龍子の住居と画室(昭和20年8月)
住居は消失したが画室は無事だった。この年の秋、第十七回青龍展に名作『爆弾散華』を出品。



11 山王書房(昭和34年頃)
昭和28年から52年まで、この地にあった古本屋。馬込文士のみならず多彩な文化人にこよなく愛され、店主・関口良雄さんの著書『昔日の客』は、近年、芥川賞作家の又吉直樹に絶賛された。

10 春日神社(昭和5年)
写真の社殿は、建替え前のもの。建替え後の昭和15年(紀元2600年)に「村社」となった。創建の年代は鎌倉時代と伝えられ、毎年6月の例大祭での露店の賑わいは、つとに有名。

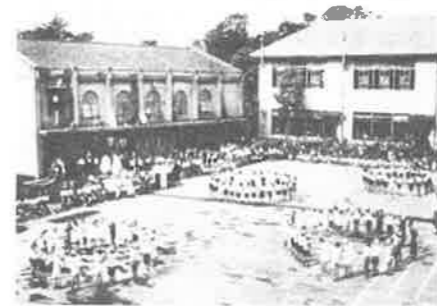


12 大田文化の森(平成13年)
大田区役所の跡地に建設された。施設の理念を「地域文化の振興」とし、新井宿地区の文化発信拠点となっている。

13 入新井第二小学校の木造校舎(昭和30年)
当時、大相撲で弓取りの名人と謳われた大田山は、入二小出身。蔵前国技館で行われた引退式には母校の生徒全員が招待された。



14 入新井第四小学校(昭和29年頃)
昭和6年開校(東京府荏原郡入新井第四尋常小学校)。昭和22年、現校名に。バルコニーがある正面玄関が印象的(左の航空写真の右側の三角屋根の部分)。入学式の写真には必ず正面玄関が入っていた(右の写真の人物の背景が玄関)。25年にはストーブが取り付けられ、高学年になるとストーブ当番がバケツに石炭を取りに行き、皆苦労して教室を温めた。



1 山王小学校(昭和21年)
写真は昭和22年の火災の前で、古い校舎が見える。校舎焼失で一時「三部授業」を行った。昭和28年には入新井第三小学校から山王小学校へ名称変更した。校庭は昭和31年にはすでにコンクリートで、転ぶとよくけがをした。

2 大森ホテル(大正11年頃)
山王には昭和40年まで大森ホテルという木造洋風2階建ての建物があり、川端康成・村岡花子をはじめ多くの文士に愛されてきた。廃業後は大森郵便局建て替え期間中の臨時郵便局として昭和44年まで稼働し、その後現在の山王公園と山王保育園に生まれ変わった。



3 蔵島神社・弁天池(昭和60年頃)
大正時代後半、付近の田畑に湧き水が行き渡るようにと水の神である弁天様が祀られたという説が有力。蔵島神社を囲む弁天池は今も木原山の湧き水が源泉。

4 熊野神社(昭和30年)
村社であるこの神社は、その昔江戸湾を望むことができた場所。昔の本殿は日光東照宮の建築材の一部で造られた。本殿の近くには、江戸時代この辺りで悪さをした狐を閉じ込めたといわれる狐碑がある。



5 衆善稲荷社(現在)
荒瀬ヶ崎熊野神社の中腹に鎮座する。「正一位衆善稲荷大明神 文化第二年」の掛け軸(ペリー来航の約50年前)が現存。名前の由来「衆善」の文字には、当時罪人とされていた「義民六人衆」に対する新井宿村の人々の熱い心意気を表したものだとい説があり、大変興味深い。毎年二月、式典と清宴を行っている(稲荷講)。

6 善慶寺(昭和4年)
義民六人衆の霊廟(墓碑を守る)で知られる善慶寺は、日蓮宗のお寺。六人衆にかかわる遺品や絵伝などがある(見学可。要事前連絡)。初夏は庭の池で蛍を見ることができる。



7 根ヶ原神社(平成21年)
「根ヶ原」はこのあたりの地名。起源については不明だが、「だいろくさま」の名で親しまれており、文化11年(1814年)に行った祭りの金銭帳が残っている。ここの桜を楽しみにしている方が多い。今年の秋には公衆トイレ「さくらトイレ根ヶ原」ができる。